

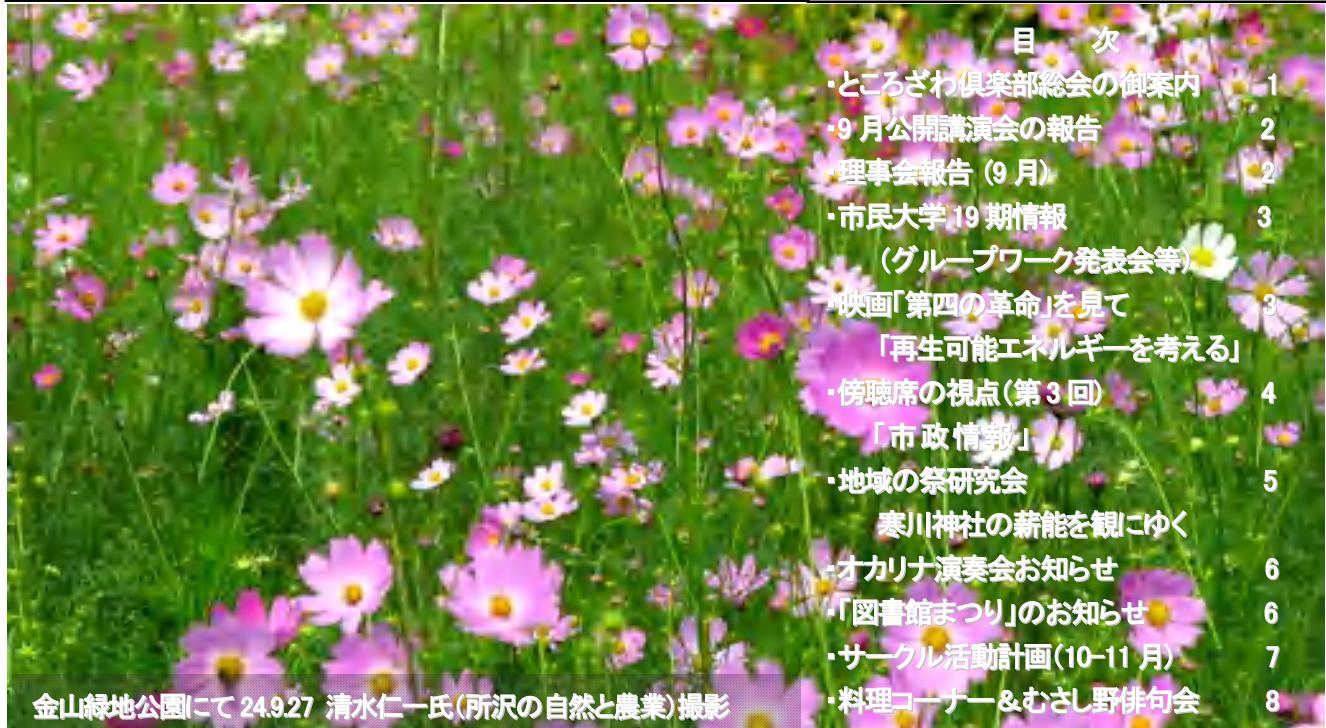
地域にはばたく市民パワー！

ところざわ倶楽部 「広場」

所沢市民大学修了者の会 広報紙

2012年 10月号 (第54号)

発行責任者 加曾利 厚雄



目 次

・ところざわ倶楽部総会の御案内	1
・9月公開講演会の報告	2
・理事会報告(9月)	2
・市民大学19期情報 (グループワーク発表会等)	3
・映画「第四の革命」を見て 「再生可能エネルギーを考える」	3
・傍聴席の視点(第3回) 「市政情報」	4
・地域の祭研究会 寒川神社の薪能を観にゆく	5
・オカリナ演奏会お知らせ	6
・「図書館まつり」のお知らせ	6
・サークル活動計画(10-11月)	7
・料理コーナー&むさし野俳句会	8

第6期総会の御案内

更なる活性化を目指して！

副会長(総務部長) 菅沼 康雄

今夏は異常な暑さの続いたあと、秋雨となり秋の彼岸と共に涼しさが戻って参りました。会員の皆様、お変わりなくご活躍のことと拝察申し上げます。

ところざわ倶楽部の第5期もこの11月で終わり、新たに第6期を迎えることとなります。

そこで、「ところざわ倶楽部」の総会を、下記の要領にて開催致します。

会員の皆様には、別途総会案内を郵送致しますので万障お繰合せのうえご参加をお願い致します。

日 時 11月14日(水)13時～15時半
(12時20分 受付開始予定)

場 所 新所沢公民館ホール
(新所沢駅西口 10分)

資 料 当日配布

その他 議事前1時から「地域の祭り研究会」、「歴史散策クラブ」、「公園を楽しむ会」の活動報告があります。議事は2時からの予定です。

市民大学の第14期の修了と共に発足したところざわ倶楽部は皆様のご協力、ご努力のお蔭で健全な発展

ところざわ倶楽部ホームページ <http://www7b.biglobe.ne.jp/~tokorozawaclub/>

を続け、5年の歴史を刻むことができました。

この第5期では市民大学の18期修了生を迎える、会員数は252名を数えるまでに成長して参りました。

活動の中心であるサークルは15を数え、その活動は地域とのつながりを徐々に拡大しています。

会員間の情報交換も活性化し、情報媒体である広報紙「広場」と併せ、電子ネットを活用した「ホームページ」の格段の充実には目を見張るものがあります。

地域に根ざしたより良き活動体を目指し、年々努力を重ねている「ところざわ倶楽部」の更なる発展のために、皆さまのご意見、ご感想など、忌憚のない活発なご発言を賜りますようお願い申し上げます。

芋煮会開催のお知らせ（既配布チラシ参照）

日 時: 10月23日(火) 10:00 ~ 14:00

場 所: 農家民宿「コロット」(山口 2040)

内 容: 講演「里山を守る(仮題)」荻野 豊氏

懐かしの歌声 & 芋煮で懇談

参加要領: 事前申し込み(申込期限: 10月12日)

《公開講演会の報告》

「所沢倶楽部と近代政治」

9月13日(木)新所沢公民館ホールで、明治大学名誉教授 渡辺隆喜先生による講演会が、100名を超える来場者を迎えて開催されました。

私は、今回のような話を聞くのは初めてで、興味深く聞かせていただきました。

明治20年代は、明治憲法公布、議会の開設など近代国家の体制を整えた時期であり、これに向けて先進国の法律や、軍事学、政治制度等を学ぶ必要があり、多くの人材がヨーロッパ諸国やアメリカに留学しています。この時期、所沢界隈からも入間郡藤沢村出身の粕谷義三が、明治19年20歳の時にアメリカに留学しています。粕谷氏は後に埼玉県会から国会に出て衆議院議長まで務めました。

また、「所沢倶楽部(政治結社)」は明治22年10月に設立され、町会議員(豪農、中小商工人)有志を中心に組織され、所沢地域の進歩を担ってきました。地場産業や農業の発展を願い、地方自治を主張し活動をしてきました。しかし、日清戦争と川越鉄道開通を



野老澤の歴史を楽しむ会 小野 ちづる

契機に活動の方向が変わり、ドイツに留学し立憲政治を学んだ伊藤博文が設立した、立憲政友会の下部組織に入っていました。

日本が近代国家を創設しようという時期、所沢においても、みんなが一致団結して所沢地域の発展をめざす活動があり、その中核となった所沢倶楽部。偶然にも、字は違えど同じ名前を持つ私達ところざわ倶楽部、政治的な活動はないけれど、所沢の発展を思う精神は同じものなのかもしれませんね。

この講演会を開催するに当たり、ご尽力いただいた皆様に感謝いたします。



平成24年9月理事会報告

総務部長 菅沼 康雄

9月理事会は10日(月)10時から開催された。

1. 加曾利会長から当面の諸課題に対する所見
 - (1) 今期理事会、イベントとも残すところ2回となつた。総会を含め準備を怠りなく。
 - (2) 各部来期総会に向け今期活動の纏め、来期活動方針・計画立案等の準備を。USBメモリーの活用を。
 - (3) 来期の倶楽部活動の基本は1、3、5、7、9、10月にイベントの想定でどうか。詳細は事業部で検討を。
 - (4) 10月理事会は、新理事を迎える顔合わせと引継ぎを考えている。11月理事会は第6期の第1回とする。
2. 若山事業部長から、事業部事案の諸報告
 - (1) 来期事業計画の骨格は会長提案を基に、今後、新部長・理事で検討したらどうか。
 - (2) 市民大学19期生向け説明会は10月18日閉講式後(10:30~)、センターで行う予定。各OB組織紹介後、各サークルはパネルを準備し#203で説明の予定。
 - (3) 9月の歴史講演会、10月芋煮会の準備状況の報告。
 - (4) 次回総会前のイベントとして文化系サークル活動

報告会の提案があった。「地域の祭り」「歴史散策」「公園を楽しむ会」3サークルから申し出があった。

- (5) 「地球環境」サークル共催の「第4の革命」紹介。
3. 池田広報部長からは、広報部事案の諸報告
 - (1) 広場9月号の紹介。配信容量大で心配。
 - (2) 広場10月号の企画紹介と記事の依頼。市民大学19期閉講式、市政報告、サークル活動報告など。
- (3) HP紹介: 開設後半年で1万件超のアクセス。
4. 菅沼総務部長
 - (1) 総会の準備状況 開催日時: 11月14日午後1時、総会2時からの予定。場所: 新所沢公民館ホール
 - (2) 総会に向け、第5期決算中間報告締めを報告した。各部・サークルは次回理事会までに決算報告準備を。
5. その他

[次回理事会予告]

第11回理事会 10月9日(火) 場所: 新所沢公民館
臨時(総会準備)10月22日(月) 場所: 新所沢東公民館

第19期所沢市民大学 グループワーク発表会

第19期所沢市民大学の受講生がグループ学習の成果を小手指公民館分館を会場に発表します。ご家族やお友達、市民大学に関心のある方など、お誘いのうえ、ぜひお越しください。

【無料・入場自由】

第1日目

10月4日(木) 午後1時30分～4時30分
(受付開始 午後1時)

【発表内容】

- ①日本の農業「市民から見た所沢農業の振興策」
- ②男女共同参画「少子化と男女共同参画」
- ③地域の自然「狭山丘陵の里山をテーマにした
さいたま緑の森博物館とは？」
- ④音楽「シューベルトの生涯と作品」

【会 場】 小手指公民館分館 ホール(300人収容可能)
所沢市小手指町4-22-2(小手指駅南口から徒歩約8分)
※南口を出て駅を背にしてまっすぐ進み、1つ目の信号を左折。
そこから200メートル先の右側(道路の南側)にあります。

第2日目

10月11日(木) 午後1時30分～4時30分
(受付開始 午後1時)

【発表内容】

- ①所沢の歴史「歩いて学んだ所沢の歴史」
- ②古典芸能「歌舞伎の音楽」
- ③所沢の元気なまちづくり「高齢者福祉の充実・
所沢の食文化・
所沢の中心市街地の活性化」

なお、10月18日には、生涯学習推進センターにおける第19期所沢市民大学の閉講式終了(12時予定)後、OBにより運営されている3団体の説明紹介が行われます。また、別室において、当倶楽部所属サークルによる修了生に対するサークル紹介と入会勧誘を予定しています。会員を募集したいサークルはご準備をお願いします。

映画「第4の革命」を見て

地球環境に学ぶ 塚本 二郎

グローバルな視点でとらえ、評判以上の素晴らしい映画で感動しました。

制作者(監督と主演)は、全編に流れる「100パーセント再生可能エネルギー時代の到来しか人類の生きる道は無い」という理念を、確信を持って人々に訴えたかったものと思います。

このような内容だったので、ドイツ国内で多くの人が興味を持って鑑賞し、国のエネルギー政策にも影響を与えたのではないかと考えられます。

世界11ヶ国でのロケを追って映画は出来ていましたので、その概略を紹介します。

・**大都会(ロサンゼルス)** ビル群の外壁になぜソーラー・パネルがないのかと疑問を呈している。

・**マリ共和国** 電気のない生活、特に夜間の病棟での苦労——地球上で電気を利用できない人口は何と20億人。訓練施設を設けて多くの技術者を育て、設置されたソーラー発電設備による点灯シーンでは、現地の人々の喜びが画面から伝わってくる。(エネルギーの自

立、この訓練施設の受講者の大半は女性)

・**デンマーク** 70年代のエネルギー危機の際、エネルギーの殆どを国外に依存していた反省から、官民あげて再生可能エネルギーに舵を切り、今ではこの分野での大国になっている。

・**中国** 経済発展に伴い石炭火力発電を増強。太陽光発電にも力を入れている。

・**ブラジル** 森林伐採の抑制 先進国の経済的な負担。

・**スペイン** カラオラ 集光式太陽熱発電

50MW 蓄熱(=蓄電)のメリットあり。

・その他

低開発国への援助・融資(原材料生産だけでなく製品化まで等)格差の解消。

将来の自動車は全て再生可能エネルギーで作られた電気とする。

- 狹山市市民会館小ホール 参加者300人(内、ところざわ倶楽部会員30人)

支え！ 学び！ 遊ぶ！ サークル活動レポート

《傍聴席》 狹山ヶ丘中学校問題と地方自治法改訂

本間 滋

[I] 9月市議会：狭山ヶ丘中エアコン問題

狹山ヶ丘中の問題については、9月の定例会でも最終的には12人の議員が質問を行いましたが、これだけ質問が集中したのは異例です。議員諸氏の賛否や見解は各人各様ですが、ある議員の分類では、設置を求めた人が5人、議会が決議し請願を採択しながら自らの考えをはつきり示さずに質問した人が2人、市長の方針に賛同した人が4人、“その他”的な質問の人が1人だそうです。

10日の福原浩昭氏(公明)の、除湿工事を廃止した市長判断と市民への説明責任について「市長の政治姿勢」を問う質問。

11日の脇晴代氏(共生)が、「教育」という角度から①教室の室温・湿度実測結果の分析、②学校環境衛生基準にある“望ましい基準”についての見解を確認しつつ、③同校の環境整備方針について問う質問。

同日の村上浩氏(公明)が「教育観」という視点から、“私ならエアコンをつけてあげて、子供たちに今この環境で教育を受けられるのは福島のお蔭であり、福島に感謝しようと教えていく”と述べたこと。

13日の平井明美氏(共産)が、①議会の議決や16,000人近い市民からの請願の重みをどう考えるのか、②保護者による騒音の調査資料に見る騒音の高さについての見解などを糾した質問では、保護者による調査資料の信憑性に市長が疑義を示したことから、かなりエキサイトしたこと等々。

今回の一般質問は大変印象に残るものでした。

「傍聴席の視点」

これらに対する市長の答弁は、総じて“重く受け止めながら熟考の末の決断である”として何ら変化はなく、市長の熟考の根拠やその情報量の多寡などについての説明がないため、答弁は議員や市民の納得が得られるものではありませんでした。

この問題の本質は、これから政治家に必要な“透明性”と“説明責任”についての市長の認識にあるように思います。政治を動かすのは、結局のところ“世論”ですから、この問題も所沢の“市民”的な“世論”がどう判断するかにかかってくると思います。

[II] 地方自治法改訂

① 問題 おお有りの今回の自治法改訂

地方自治法は国法なので、改訂は国会で審議されます。ただこの法律は地方自治体を規定する法律ですから、改訂の影響を受けるのは自治体です。今回の改訂の中で特に問題と思われる点は、当初原案になかった「政務調査費」を「政務活動費」に改める「活動費」への改称と“交付の目的”である議員の調査研究に新たに“他の活動に資するため”の文言が付け加えられたことです。

「政務調査費」段階でもその使途について訴訟沙汰になるなど問題が多かったのですが、これに“他の活動”を付け加えれば、その使途は著しく拡大されることが予想されます。(下段 新聞記事のカット 参照)

② 埼玉8区選出の3議員にアンケート

このような問題をはらんでいる改訂は衆議院でなされたのですから、私たち「傍聴席」はアンケートという形で、先ず埼玉8区選出の小野塚勝俊(民主)、柴山昌彦(自民)、塩川鉄也(共産)の3氏に、衆議院議員としての見解を伺うことにしました。果たしてお答えが頂けるかどうか分かりませんが、締め切りを10月5日でお願いしています。なお市議会議員への質問も予定していますので、これらの結果は次回の「傍聴席の視点」でお伝えします。



《 地域の祭り研究会 》

ある真夏の夜の夢

— 寒川神社の薪能を観に行く —

園田 靖彦

この稿を書いている今は、9 月下旬である。私たち地域の祭り研究会のメンバー41 名がバスを借り切って神奈川県寒川神社の「薪能」を観に行ったのは、8 月 15 日——。丁度あれから 1 カ月がたった訳であるが、大袈裟な言い方だが、私は今でもあの薪能は、“真夏の夜の夢”ではなかったかと思っている。それは私の想像を遙かに超えて、崇高に計画され、予想を遙かに超えて、見事に演出され、多くの人に静かに支持されていたからである。その心地よい気持が、今でも私の心の中に清冽にある。きっとあの場に居合わせた全員が今も私と同じ気持であろうと思う。

私が感動したのは、

- ① 寒川神社で、
 - ② 昭和 45 年から毎年、この 42 年間、
 - ③ 8 月 15 日のお盆の夜に、
 - ④ 戦争犠牲者の御靈をお慰めするために、
 - ⑤ 薪能を、当代一流の演者を揃え、
 - ⑥ 先着 1,000 名を招いて、無料で、
- 行っていたことを知ったことによる。

寒川神社は、相模国を始め、関八洲総鎮護の神として古くから朝野の信仰があつく、歴代の奉幣、勅祭が行われ、皇室との縁が深い。私たちが訪れたときも、神社の両大門の大提灯、そして本殿中央の大屋根瓦に菊の紋章が大きく刻印されていた。

その由緒ある神社で、42 年前のお盆の日から毎年、薪能を催して、戦没者の慰靈を行ってきたという。



昭和 45 年と言えば、日本は経済成長の絶頂期、この世にカネで買えないものはない日本人が狂喜乱舞していた時代だ。私も社会人 3 年目を迎え、立派な企業戦士となるべく徹夜もいとわず仕事に専念していた。

そんな日本国中が浮かれていたとき、この繁栄は先人の貴重な犠牲の上に成り立っていると、しづかに日本の行く末に想いをはせた人がいたのだ。しかも、お盆の日の夜、薪能をもって追悼するという。

能の大きなジャンルには、修羅能がある。多くは無念の死を余儀なくされた者が亡靈となって生者の前にあらわれ、その慚愧の情を吐露し、生者と交歓し、やがて安堵して去つて行く物語だ。能はまさしく鎮魂劇、追悼劇であるといえよう。これをお盆の夜に演るという。なんという見事な発想、そして演出——。私は、すっかり感動した。

薄暮の迫るなか、薪がめらめら燃える。始まった能は、やがて死者の狂気のような舞でクライマックスを迎える、一挙に静寂へ。人の一生のように、無から始まりやがて無へ戻る。舞台の上は、いつのまにか、不夜城のように妖しく輝き、見上げると空は、雲一つない蒼天だった。

私たちは、発足 42 年目ではあったが、先人追悼の、薪能の末席に列することが出来て、ほんとうによかったと、今、思っている。

さて、残念ながら当夜披露された演目について感想を述べる紙幅がない。ここに当日の演目を謹んで留めおく。

● 能『三輪』、● 狂言『芭山伏』、● 能『小鍛冶』。





オカリナ演奏会 (無料)へのお誘い

前「所沢オカリーナ同好会」会長 岡本詔一郎

ところざわ倶楽部の皆さん、これまで講演会、総会及び文化祭では、会員有志によるオカリナ演奏を聞いていただき、有難うございました。

私ごとですが、7年前にオカリナに出会い、「私のようなものでもこんなに楽しめるなら、きっと私と同じような気持ちになる者は多いはずだ！」と決めつけ、旧生涯学習推進センターで“おたまじやくしの会”と名付けた同好会を7名で立ち上げました。

同好会も、いつしか“自分が吹いて楽しいオカリナ”から“人様に聞いていただくオカリナ”になって行き、先生無しで、「褒め合って楽しく」を合言葉にやって来た会も、技量向上を迫られました。そこで、定例練習日にプロのオカリナ奏者を呼んで聴こうと思い立ち、年3度ほど聞いてまいりました。

今回は、2周年記念の発表会の際に演奏していただいた宮村将広先生を5年ぶりにお呼びすることになりました。先生は今流の素晴らしい方で、大分県に在住

し、九州主体にオカリナの演奏活動をされています。9月には招かれて台湾でも演奏されています。

きっと、素晴らしい演奏会になるに違いないと思い、ところざわ倶楽部の会員の皆様にも聴いていただきたく、投稿させていただいた次第です。

日 時 : 10月19日(金)

開場 12:30 開演 13:00 ~ 14:00

場 所 : 小手指公民館 分館 ホール

出演者 : 宮村将広 (オカリナプロ奏者)

田中陽子 (ピアノ)

九州方面で活躍、海外でも演奏

曲 目 : コンドルは飛んでゆく

荒城の月、愛燐々、

津軽のふるさと、モルダウ、

その他 (変更あり)



主 催 : 所沢オカリーナ同好会

その他の : ホームページ「ライブ情報」所沢演奏会記事

<http://www.frankone.jp/schedule.html>

図書館まつりが開催されます！ (テーマ: 未来につながる本との出会い)

■日 時 : 10月27日から1ヶ月は図書館まつり月間です。 9時30分~17時

所沢本館 10月27日(土)・28日(日) 柳瀬分館 11月3日(土)・4日(日)

松井小学校図書館 11月4日(日)

富岡分館、新所沢分館 11月10日(土)・11日(日) 吾妻分館 11月10日(土)

所沢分館 11月17日(土) 椿峰分館 11月17日(土)・18日(日)

狭山ヶ丘分館 11月24日(土)・25日(日)

■前夜祭: 10月13日(土) 「ふるさとを知ろう！埼玉の織物 - 川越唐、結城縞、

所沢飛白について」 講師: 埼玉大学教授 田村 均氏

■内 容: 「所沢の民話」 語り手 鈴木 征子氏

: 「詩を書こう詩を読もう」 講師 須永 紀子氏

*自作の詩を募集中！ テーマ「ちから」(しめきり: 10月13日)

: 「電子図書と私」 講師 村島 完治氏

: シンポジューム「子どもの本の選び方、楽しみ方」

: ミニコンサート ギターアンサンブル Dolce

*詳細は図書館、公民館のポスター、チラシ、ホームページ等をご覧下さい。

お問合せ: 所沢図書館 (Tel: 2995-6311)

サークル活動計画



10月～11月の各サークルの活動ラインアップです。興味のある活動に参加してみませんか？

アジア研究会（小椋雄二） 10月 17日(水) 定例会 13:30～16:30 中央公民館8、9号学習室DVD鑑賞 東経大羅教授+大学院生との懇談会は詳細未定継続交渉 11月 定例会詳細後報	地域の自然（多胡國男） 10月 13日(土) 調査地整備と調査 09:00～ 10月 20日(土) サツマイモ収穫作業 10:00～ どなたでも参加可能。連絡あればチラシ送付。 10月 27日(土) サツマイモ畑整備 09:00～
傍聴席（高垣輝雄） 10月 15日(月) 定例会、14時～新所沢東公民館 市議会「会派：公明党」の出前講座（例年、各派の出前講座で議会・市政について学び、また意見交換を通じて市民感覚を伝えてきました）、他	歴史散策クラブ（大河原功） 10月 13日(土) 一慈光寺を訪ねる－所沢駅発8:59 本川越駅9:20到着電車で改札口集合、直行可 11月 10日(土) －秩父札所19～23番－ 所沢駅 飯能行ホーム先頭付近集合8:00 11月 17日(土) 役員会 新所沢東公民館9:30～
楽悠クラブ（甲田和巳） 10月 9日(火) 「バーンズайнとウェストサイド物語」トキュンター (場) 中央公民館#8・9 (時) 13:30～ 11月 6日(火) 歌劇「シモン・ボッカネグラ」DVD鑑賞 (場) 中央公民館#8・9 (時) 13:30～	ドラマティック・カンパニー（八木雅子） 10月 6日、20日(土) 時間10:00～12:00 会場 新所沢東公民館 「アントニーとクレオパトラ」を読みます。 11月は第3土曜日 時間：10:00～15:00の予定
地球環境に学ぶ（塚本二郎） 10月 12日(金) バスによるエコ見学会 10月 16日(火) 15時～定例会 新所沢東公民館 上映会・見学会の反省、今後の計画 11月 20日(火) 15時～定例会 新所沢東公民館	葵の会（池田新八郎） 10月 11日(木) 13:30～16:00 中央公民館5号 平家物語第7回 那須与一 11月 15日(木) 13:30～16:00 平家物語第8回 先帝身投げ
地域の自然を考える会（前岳良子） 10月 23日(火) 倶楽部芋煮会主催(コロット) 11月 25日(日) 収穫祭(糀谷) 11月 27日(火) 里山整備(トトロの森12号地)	野老澤の歴史を楽しむ会（山本苗子） 10月 18日(木) 鎌倉街道を歩く② (西武新宿線狭山市駅改札口9時30分) 11月 1日(木) 軽便鉄道① (時間未定) 11月 22日(木) みかん狩り 三ヶ島 (時間未定)
公園を楽しむ会（渡部正俊） 10月 25日(木)：東急世田谷沿線の散策 11月 1日(木)：迎賓館前庭・神宮外苑・新宿御苑の散策 11月 22日(木)：高尾山ハイキング	北欧の会（樋口俊夫） 10月27日(土) 第34回例会 13時20分 テーマ 「北欧と日本の高齢者福祉について」 11月17日(土) 第35回例会 13時20分 場所 新所沢東公民館
所沢の自然と農業（高橋赳彦） 10月 9日(火) 月例会 13:30～新所沢東公民館 10月 23日(火) 倶楽部芋煮会(コロット) 11月 15日(木) 月例会 13:30～新所沢東公民館 12月 6日(木) 北鎌倉ハイキング	地域のまつり研究会（影山洋） 10月 10日(水) 定例会 9時～11時新所沢公民館 10月 14日(日) 吉田の龍勢祭りの最終状況の確認 11月度開催の「小鹿野歌舞伎の」応募状況の検討、 総会前のサークル活動報告の検討など。



料理コーナー

後藤律子

記録的な暑さも過ぎようやく秋めいてきました。秋と言えば食べ物が美味しい季節です。野菜の中では秋ナスも美味しいですね。今月は友人宅に伝わるナスの味噌汁を紹介致します。



ナスの味噌汁



「材料」(2人前)

ナス 2本、サラダ油大さじ 2分の 1、醤油大さじ 1、味噌大さじ 1、煮干し 5本、鰹節適量、ネギ適量

「作り方」

- ① 煮干しでだし汁 600 cc を作っておく。
 - ② ナスを斜め切にし水につけ灰汁抜きをする。
 - ③ フライパンにサラダ油を熱し、ナスを入れて炒める。
 - ④ 沸騰させただし汁の中にナス、醤油、味噌、おから、ネギを入れて完成です。
- ※ 味の濃さは自分で調節して下さい。



ナスの煮びたし



「材料」(2人前)

ナス 6本、赤トウガラシ 2本（小口切り）、ゴマ油 大さじ 2、おろしショウガ適量
A (だし汁 400 c c、醤油大さじ 1、塩小さじ 2分の 1 砂糖小さじ 2分の 1、酒大さじ 2)

「作り方」

- ① ナスはヘタを切り落とし、縦に深さ 5~6 ミリの切り込みを数か所にいれる。
- ② 鍋にごま油を熱し、赤唐辛子、ナスをいためる。
ナスに油がまわったら、合わせておいた Aを入れ、落としぶたをして 10 分ほど中火で煮る。
器に盛り、おろしショウガを添える。

《編集後記》

★ 3年ぶりに理事に復帰。理事会に出席して考えました。『ところざわ倶楽部とは何か』『地域に学びを還元するとは何か』この二つの問題です。

★ 繼続は力なりといいます。樂しければ継続します。楽しいことは継続力になり、求心力になります。しかし、楽しいだけでいいのでしょうか。プラスサムシングが必要です。

★ 私は小学生のころから父に『よく学びよく遊べ』と何度もいわれました。学生時代、合唱サークルで活動の目的は『自己表現だ、いや感動することだ』と議論したものです。

★ マズローの欲求段階説は『人間の欲求は生理的欲求から安全欲求、所属親和欲求、自我欲求、そして一番高次の自己実現欲求まで 5 段階ある』というものです。

墨提をひたに歩ける木歩の忌スマートホン操る指の爽やかに落し水野良着濡らして帰り来る放水に花の震へる八つ手かな葉擦てふ木々のささやき涼新た箇目の一直線や大相撲霧を出て一天青き榛名山遠目にも忙はしきさまや下り築願ひ事言ふ間もなしに星流がる水引草乙女はぢらふ淡き恋読みさしに葉を挟み虫を聞く

高梨 千代	白神 恵子	佐藤 八郎	佐藤 英子	小林 典子	小林 貞夫	河瀬 俊彦	粕谷 博	岡本 詔一郎	鈴木 征子
-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	------	--------	-------

コスモスの今花盛り無人駅
足摺の金剛福寺鷄頭花
だしぬけにつんと立ち上ぐ彼岸花
秋の夜や般若心経ルビを追ふ
新生姜香りはじける厨かな
しなやかに動き通しの秋桜
蜩や献燈ともる九十九折
鬼灯の網目に透けし朱き珠

海老澤 講	井出 昇	飯泉 陽子	荒幡 千鶴子	平栗 彰子	橋本 佑子	利根川 啓一	高光 泉	高橋 三郎
-------	------	-------	--------	-------	-------	--------	------	-------

この第 5 段階を表現し実現する『場』が、ところざわ倶楽部であるととらまえたらどうでしょうか。

★ 7 月の『文化祭』の出演者の多彩なこと、達者なことに驚かされたのは私だけではないでしょう。ところざわ倶楽部の有する人材の量と質・・・。

250 余名の会員の趣味・特技の『データバンク』をぜひ作って『隠れた人材』を掘り起こしましょう。学びを地域に還元する方法はいろいろな形があります。『発信する』ことは還元する 1 方法であり、『充電し発電する場、受信し発信する場』が『ところざわ倶楽部』でしょうか。

★ ところざわ倶楽部の友だちから『今、にしとこの○○にいるんだけど来ない?』と電話・・・私はタクシーで駆けつけました。『これがところざわ倶楽部なんだよなあ』と思いながら・・・(‡.^‡) (謙)

むさし野俳句会(二十四年九月)作品抄